

サイテーなあいっ

作●花形みつる
絵●垂石眞子



サイテーなあいっ

作●花形みつる
絵●垂石眞子



わくわくライブラリー

サイテーなあいつ

1999 年12月 6 日 第 1 刷発行

定価は、カバーに表示してあります。

著 者 はながた 花形みつる

画 家 たるいし まこ 垂石真子

発行者 野間佐和子

発行所 株式会社 講談社 (〒112-8001)

東京都文京区音羽2-12-21

電話 出版部 03(5395)3535

販売部 03(5395)3625

製作部 03(5395)3615



印刷所 豊国印刷株式会社

双美印刷株式会社

製本所 和田製本工業株式会社

N.D.C.913 192p 22cm

© Mitsuru Hanagata/Mako Taruishi 1999 Printed in Japan

落丁本・乱丁本は、小社書籍製作部あてにお送りください。

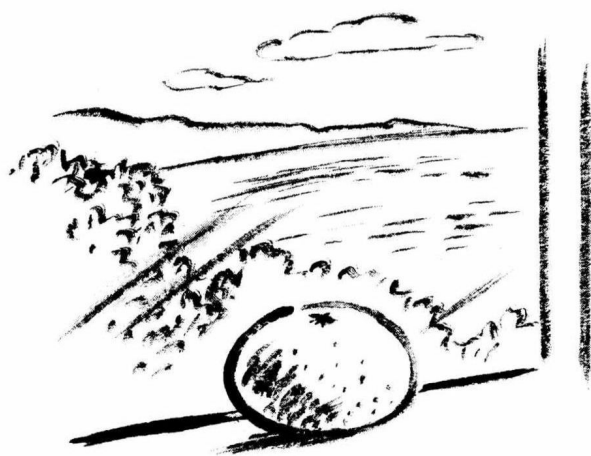
送料小社負担にておとにかえます。なお、この本についての

お問い合わせは児童図書第一出版部あてにお願いいたします。

ISBN4-06-195695-7 (児一)

本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

サイテーなあいつ・もくじ



I

カオルちゃん 8

ソメヤ 14

カオルちゃんのストレス 18

ソメヤの悩み 25

カオルちゃんの発見 28

ソメヤのなみだ 39

カオルちゃんのゆううつ 45

ソメヤの失敗 54

カオルちゃんの夢 62

II

カオルちゃんの爆発 66

ソメヤの恐怖 72



カオルちゃんの決心^{けつしん} 78

ソメヤのとまどい 87

カオルちゃんの作戦^{さくせん} 100

ソメヤのしあわせ 105

カオルちゃんの快感^{かいかん} 116

ソメヤの逆襲^{ぎやくしゅう} 118

カオルちゃんの痛み^{いた} 122

ソメヤのかなしみ 127

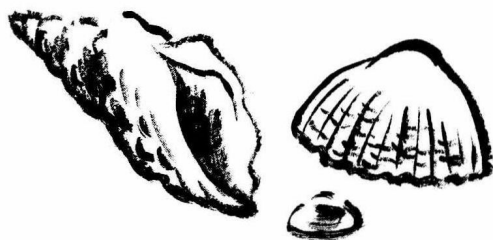
III

カオルちゃんの告白^{こくはく} 134

ソメヤの冒険^{ぼうけん} 146

カオルちゃんの思い^{おも} 170

あとがき 188



装丁
坂川事務所

ったくもー、サイテー！

四年生になって最初で最大の運だめし、席決め。

クジを引いたら、いきなり、ヘソメヤノリオンが出るもんなー。

小学生ライフの半分は、となりの席のヤツで決まるってのに……。これで、あたしの一学期はサイテー、ってことが決定してしまった。

I



カオルちゃん

ソメヤはサイテー、って思^{おも}ってるのは、あたしだけじゃない。
だいたい、クラスの中で、ソメヤのことを好^すきなヤツなんて、ひとりもないんじゃないの。

なかでも、タケダとハルキ。

ふたりとも、運動^{うんどう}神経^{しんけい}がよくってケンカも強^{つよ}くって、クラスの中でもめだってる男の子たち。だから、このふたりがソメヤをきらい、ってことは、当然^{とうぜん}、ほかの男の子たちもソメヤがやだ、ってことになるんだ。

とくに、タケダは、メチャクチャきらってる。理由^{りゆう}は……、三年生^{さんねい}のとき、ソメヤにツバとばされたから、じゃないのかな。

へツバとばしは、ソメヤの武器^{ぶき}なんだ。これやられると、女の子なら泣^ないちゃうし、男

の子だったらキレちゃう。

あのときのタケダも、キレた。

「おまえ、いつか殺されるからな。」

つてスゴんで、ケリ入れてた。でも、ケリだけでガマンした。

マジギレしたタケダがケリだけでやめたのは、ソメヤをなぐると手がくさるから。ソメヤにさわると手がくさる、つて、けっこうみんなマジでしんじてるよ。

で、タケダがソメヤを「殺したいくらいに、きらい。」だとすれば、ハルキのほうは、いくらかマシかも。「半殺しにしたいくらいに、きらい。」つて、いつてたから。……つて、たいしたちがはいはないんだけどさ。

去年、ソメヤとハルキの席がとなりどうしになったことがあったんだけど、ソメヤつてば、ハルキのテストの答え、見まくりだったの。ハルキ、すぐくムカついてた。

ムカつく気もち、よくわかる。だって、ソメヤが見るの、テストだけじゃないんだもん。図工で好きな動物を作ったときも、もーマネしまくり。社会科で消防署を見学にいったときも、署長さんからきいた話をもとにして作った新聞なんか、もーカンペキ、パクリ

なの。

さすがにハルキもガマンの限界突破しちやつて、

「先生！ ソメヤくんがマネするんです！」

っていいつけたもんね。

そしたら、ソメヤつてば、いいはるんだよ、

「ハルチくんのマネなんて、ちてないよお。」って。

ソメヤつてさー、ヘキとヘシの発音が、ときどきヘチになってしまふ、という赤

ちゃんなヤツなの。だから、ハルキなんて、

「ハルチじゃねーだろ、ハルキだろ！」

って、しょっちゅうおこつてた。

こーいうのも、ムカつくわけのひとつなんだよね。それに、ソメヤ、すぐ泣くし。

あのとときも、

「ちてない、ちてない。」

って泣きだしちやつて。



そーなると先生も、モロうんざりした顔で、
「ちよつとぐらいマネされたつていいじゃないの。」

とかいっちゃってさ、

「ちよつとじゃねーって。」

ハルキがうったえても、先生、シカト。で、

「ソメヤも、そのくらいのことで泣くんじやないよ。」

なんてことですんじやってさ。

ホント、こーなると、泣いたヤツの勝ちだよね。

あいつ、泣き虫なんだよ。ホントによく泣くの。すげー幼稚なの。

そのくせ、生意氣なまいきにも、女の子にイヤがらせすんの。いきなりだきついてきたり、「ウへヘエー。」とか氣もちわるい声出こえしながら追おいかけてきたり……。

でも、女の子たちは、なにをされても手は出さない。ひたすらにげまわっているだけ。だって、ヘタにさわると、ソメヤのバイキンがうつるじゃん。

やりかえすのは、女の子の中でいちばんあぶないフーコぐらいかな。そのフーコでも、素手すではつかわないもんね。上うばきでケリ入れて、直接ちよくせつさわんないよーにしてる。

ンなヤツだから、当然とうぜん、ソメヤは女の子全員のきらわれ者もの。女の子の中でいちばん男にやさしいということになっているマリナでさえ、ソメヤだけはべつ。

あたしがゲツソリしてたら、

「カオルちゃん、かあいそー。あたしも、去年きょねん、あいつといっしょになったけど、すつごくイヤだったのよ。」

なーんて、得意とくいのへ目パチパチ光線こうせんを発射はつしゃしながら、わざわざいいにきたくらいだから。

そーいうわけで、ソメヤのとなりの席せきになったら、あたし、いきなり、クラスじゅうか

ら注目ちゆうもくされることになってしまった。

みんなの目がいつている。カオルちゃん、かあいそー、つて。だけど、ホントのところは、半分はんぶんおもしろがつてるんだろーな、きつと。

でも、でもね、ンなことよりもなによりも、となりの席せきがソメヤになって、あたしがいちばんイヤなのは、ソメヤあいつがハナクソくつつけてくることなんだよ。もー、気もちわるいよー。

だから、あたし、決心けっしんしたんだ、一学期がっきは、ぜったい休まない、つて。だって、学校休んでるあいだに、あたしの机つくえにハナクソつけられたら、マジ、ヤじゃん。

ソメヤ

こんど、ボク、カオルちゃんと、おとなりどうしになったんだ。

カオルちゃんはね、あたまがいいの。うんどうもできるし、かおもかわいい。けど、こわい。

おとなりどうしになった日に、ボクが、キーっていったら、

「なんだ、おまえは怪人か！」

ってどなられた。

びっくりした。

だって、女の子はみんな、ボクからにげるのに、カオルちゃん、にげないでおこるんだもん。